

【京都トレンド発表会 2011年1月度レポート】

2011. 1. 31

株式会社のぞみ

2011年1月26日(水)、東京・青山のスタジアムプレイス青山にて、「京都トレンド発表会」を開催しました。本イベントは、新しい京都ブランドを担う雑貨・食品のメーカーと、東京のバイヤーやディベロッパー、メディア関係者の方々との交流を図ることを目的として企画したものです。

1部「京の服飾雑貨・インテリア編」には20社、2部「京のうまいもの編」には7社の企業が出展、約60名の方々にご来場いただきました。

※当日のプログラム

前半…トレンド解説「京都で今、何が話題なのか」&各企業によるプレゼンテーション

後半…商談・交流会

【1部 京の服飾雑貨・インテリア編】

(前半)

歴史や伝統技術を活かした老舗の新商品や、世界観で勝負するブランド、話題のライフスタイルグッズについて紹介。

■歴史・技術を活かす老舗のチャレンジ

着物や陶器、漆器など京都の伝統産業は、後継者不足により廃業も増加。既存の流通ルートでは限界があり、直接小売に乗り出す企業や、卸を飛ばして小売店に売る企業が増えている。同時に、販路や技術を活かして異業種参入する企業も増加中。

- 1)京蒔杖…北山杉に組紐をあしらった靴べらや、持ち手に京蒔絵・京象嵌した杖
- 2)栴儀…リーズナブルに大島紬が楽しめる小物
- 3)永楽屋…パリと京都をイメージし、温故知新をテーマにした手ぬぐいの新ブランド「シナンシェ」

■拡大する「京都エリア」

今までは、「京都＝京都市」という考え方があったが、藍染めの「嬉染居」やスニーカーのオリジナル染めの「高蔵」、手織ネクタイ・ストールの「KUSKA」など、実際は京都市外の桂や丹後にも新しい動きが見られる。

■大型商業施設の賞味期限と「期間限定」の強み

ラクエやコトチカ、イオンモールなど、新しく登場した商業施設がいずれも苦戦している中、東寺や天神、知恩寺で開かれる「市」が大盛況。消費がエンターテイメント化しており、いまここでしか買えないもの、いまここでしか食べられないものに、消費者が興味を持ち始めている。そういった限定性をプロデュースすることが重要。

■世界観で勝負する「ものづくり」

- 4) m. soeur・・・ナチュラルでクラシカルな世界観のアクセサリー
- 5) かざりや 鏝・・・日本人のわびさびの心に通じる、控えめな銀の美しさ
- 6) ルネッサンスバッグ 川本恵美子・・・西陣織の帯地を使い各国のビーズなどで装飾を施した一点物のバッグ
- 7) M-HERO・・・京都西陣で織られた金襴を使用した新しい和の形

■京都から提案するライフスタイルグッズ

- 8) 京都はんなり本舗・・・洗浄力抜群なのに手に優しい手作り固形石鹸
- 9) 大東寝具工業・・・昔ながらの和晒釜での加工により開発した、ふわっとソフトなガーゼ「京和晒綿紗(きょうわざらしめんしゃ)」

(後半)

銀細工加工の実演や、西陣織金襴を取り入れた皮小物への名入れの実演などが行われ、商品は来場者にプレゼントされました。また、クッションやネイルなどの展示品は実際に手にとっていただくことで、その良さをご理解いただきました。



ストラップへの名入れ実演



京仏壇の職人が作った雑道具



黒染ブックカバーなど雑貨



天然素材のネイル



京友禅を用いた小物



銀細工加工の実演



着物の柄を施した名刺



和柄のTシャツや帽子など服飾雑貨



花やレースをモチーフとしたアクセサリー



モダンな文様の手ぬぐい



西陣織の一種であるつづれ織りの小物



京象嵌のアクセサリーやストラップ



ガーゼを使ったパジャマや寝具



西陣織の帯を使用したバッグやビーズのアクセサリー



手作り固形石鹸



大島紬の洋服やカバンなどの服飾雑貨



蒔絵をあしらったステッキや孫の手



西陣の金襴を使ったドッグウェア



着物や帯を素材にした人形などの小物



樹皮が主原料のプランター向けの種まきの土

●出展企業(五十音順)

あだち、上羽絵惣、永楽屋(★)、おおみや小町工房、岡重、かざりや 鏝(★)、川人象嵌、京のはんなり本舗(★)、京の黒染屋、京仏壇 加茂定、京蒔杖(★)、時代裂屋 梵、ジャポリズム、大東寝具工業(★)、のぞみ 和札プロジェクト、プライア、枳儀(★)、m. soeur(★)、M-HERO(★)、ルネッサンスバッグ 川本恵美子(★)

★…プレゼンも実施

【2部 京のうまいもの編】

(前半)

1部と同じく老舗の新商品や、京のスイーツ・おやつの最前線について紹介。

■歴史・技術を活かす老舗のチャレンジ

- 1) 井筒八ツ橋本舗…オリジナル焼き印も押せる、生八ツ橋を包んだ三笠(どら焼)
- 2) 半兵衛麩…ディップをつけたり、生ハムと一緒に楽しむスティック状の麩菓子

3) 井六園…ゆずや黒豆をブレンドして新しさもプラスした、昔懐かしい京番茶

■街の中心地はどこへ？

店のドーナツ化現象が進み、一乗寺や北大路、北白川などバスでしか行けない場所に続々と名店が登場している。もっと大きなドーナツ化現象として、福知山市などの市外にも和三盆や栗を使った焼菓子が人気の「仏蘭西焼菓子調進所 足立音衛門」や、チョコの名店「洋菓子マウンテン」などあり。しかし、その一方で有名店の姉妹店が街の中心部に集積している。「縄手ワイン食堂」(レストランマエカワ)や、「トラットリア パール イル ギオットーネ」(イル ギオットーネ)、「五十松」(五十樓)、「Vineria t.v.b」(t.v.b)がその例である。

■スイーツ・おやつ最前線

ビジネス街である烏丸御池にドーナツカフェ「nicotto & mam」がオープン。また、昆布の老舗「京昆布舗 田なか」があられを開発したり、パン屋のチェーンの「進々堂」が黒七味の「原了郭」とコラボしたラスクを開発したりと、和・洋ともに、おやつの新展開ラッシュが続く。

■カフェから純喫茶へ

注文を受けてから豆を挽くなど、コーヒーにこだわった「喫茶葦島」や、「王田珈琲専門店」など、単なるオシャレカフェではない喫茶ブームが起こっている。

■東京方面での京都グルメの仕掛けどころ

小規模生産で催事展開する余力がない企業に関しては、製造を委託しメーカーを巻きこんだり、商品のプロデュースとして参画してもらったりする。また、スイーツで人を集め、雑貨で収益を得るといった方法が考えられる。

4) 谷商店…宇治の抹茶を使用したチーズケーキなどのスイーツ

(後半)

各企業のブースにて試食・試飲をしながら交流。お茶や珈琲の良い香りが漂う中での商談となりました。百貨店の物産展のような雰囲気、ご来場者の方には今後の展開イメージが持ちやすく、「まさにこのような京都物産展を開きたかった！」とのお声もいただきました。



丹波産コシヒカリの利き米



京都の有名喫茶チェーン



お麩を使ったスティック状のお菓子



ハッ橋ブランドの新展開

宇治茶ラスクや濃茶ロール



宇治茶の老舗の新商品



宇治の抹茶を使用したスイーツ

●出展企業(五十音順)

井筒ハッ橋本舗(★)、井六園(★)、おおみや小町工房、小川珈琲、菓子工房 KAMANARIYA、谷商店(★)、半兵衛麩(★)

★…プレゼンも実施

以上